

多羅樹43号

2024年3月発行

目次

I. 生徒の活動	p.2 ~ 12
1. 体育祭	p.3 ~ 4
2. 南翔祭	p.5 ~ 6
3. 社会見学	p.7
4. 2学年 修学旅行	p.8
5. 3学年 進路活動	p.9
6. 総合的な探究の時間	p.10
7. 部活動	p.11 ~ 12
II. クラス紹介	p.13 ~ 22
III. 各教科における取組	p.23 ~ 46
1. 国語科	p.24 ~ 26
2. 地理歴史・公民科	p.27 ~ 29
3. 数学科	p.30 ~ 32
4. 理科	p.33 ~ 36
5. 外国語科	p.37 ~ 45
6. 情報科	p.46

I. 生徒の活動

1. 体育祭

1 学年多羅樹委員 Oさん(1-7)

僕はこの体育祭が大和南高校での初めての体育祭でした。中学校の頃の体育祭と違い、学校の校庭でやるのではなく、善行にあるスポーツセンターを借りて行うため中学校との体育祭のギャップに驚いたのを覚えています。けれど正直なことを言うとあまり体育祭が楽しみではありませんでした。高校生になったばかりで新しい環境になれておらず、クラスの人たちと一緒に協力出来るか不安だったからです。ですがそんな不安は一瞬で吹き飛ばくらいに体育祭はとても盛り上がり、楽しかったです。個人的にはムカデ競走が好きでした。1番盛り上がったのはやはりリレーでした。様々なクラスの代表者がライバルたちと精一杯に走る姿は応援にも力が入りました。他には応援合戦も盛り上がりました。各団の団長を筆頭に3年生から1年生まで全員で全力で協力していてどの団の応援合戦も迫力があり、とても感動しました。こういう行事というのは準備にも違った楽しさがあり、みんなでクラスTシャツを決めたり競技の練習したりなどもとてもいい思い出です。とても素晴らしい体育祭でした。来年も再来年も楽しみです！

2 学年多羅樹委員 Iさん(2-1)

今回の体育祭は自分的には1年の時より協力性があるって、チーム一体となって体育祭を楽しめたんじゃないかと思います。去年は体育祭前にダンス練習や、競技練習が少なく、当日少し足並みが揃わないと感じたところがありましたが、今回体育祭前に先輩方が放課後ダンス練習を開いてくれたり、積極的に声を掛けてくれたり、動画を作ってくれたりしたおかげで足並み揃ってみんなでチーム一丸になって体育祭に臨めたと思います。今回の体育祭で私が1番印象に残ったことは、応援合戦です。私は青団で青団の応援合戦でのダンスの楽曲は「青と夏」でした。先輩方が何週間も前から放課後、ダンス練習を設けてくれたり、わざわざ私たちのクラスに来て「ダンスしませんか」等宣伝してくれたり、先輩方がとても親切な対応をしてくれました。そのおかげで青団のダンスは全学年みんな揃ってダンスできたと思います。また応援団だけのパフォーマンスもとても良かったです。衣装もとても可愛くてとても楽しい応援合戦となりました。来年、私たちが引っ張っていく身としてこのような体育祭に出来たらいいなと思います！

3学年多羅樹委員 Fさん(3-3)

今年の体育祭は、笑顔と活気のある体育祭になりました。昨年まではコロナウイルスの影響によりスタンドからの応援でしたが、今年は競技に出場している仲間をより近くで応援することができたのでとても盛り上がりました。中でも特に印象に残っている種目はムカデ競争です。全力で次の走者のもとへ進む仲間の隣で、クラスや学年関係なくみんなで応援をしながら一緒にゴールを目指す姿がとても印象に残っています。各団による応援合戦では、団結力を深めることができました。私の団は多くの人が放課後に集まって練習をし、応援合戦の際に踊るダンスを互いに教え合いながら覚えました。体育祭本番は練習の成果を出し切り、協力して何かをやり遂げる楽しさを学ぶことができました。それぞれいろいろな思いはあると思いますが、3年生にとって良い思い出に残る体育祭になったと思います。残りの学校行事も楽しく悔いの残らないように全力で取り組みたいと思います。

2. 南翔祭

1学年多羅樹委員 Kさん(1-2)

私達は初めて行う文化祭でした。クラスが段々まとまってきた時期でもあり不安なところもありましたが、楽しみという気持ちでいっぱいでした。

クラス全員で出し物やコンセプトを決めようとしてもなかなか決まらず、帰る時間が大幅に遅くなってしまうこともありましたが、無事決まりラプンツェルをコンセプトとした縁日を行うことにしました。いざ決まれば買い出しや装飾をクラス全員で話し合い、教室の中が段々とラプンツェルの映画の中のような雰囲気になっていきました。このまま無事文化祭を迎えられるなど内心楽しみでした。しかし、文化祭の開催が近づく中、私達のクラスではインフルエンザが流行ってしまい、当日はクラス大半がいなくなるというハプニングが起きてしまいました。ですが、残っている生徒でなんとか無事縁日を開くことが出来ました。当日、私は友達とミニーのカチューシャを付けたりネームボードを持ったりと、ずっとしたかったことができてとても幸せでした。他校の子にも会えて最高でした。

教室でも射的やヨーヨー釣り、お菓子釣りなどどの年代でも楽しめるものばかりで文化祭の二日間は繁盛したと思います。他のクラスを回るのは勿論、自分の店で接客するのもとても楽しかったです。来年は、これを超えるくらい楽しい文化祭が出来たらなと思います。

2学年多羅樹委員 Sさん(2-5)

昨年はコロナの時期とかぶってしまい、各クラス思い思いにできなかった分、解禁された今年は何の部門のクラスも「去年よりも全力で楽しもう」という意気を持って準備に取り組んでいると感じました。南翔祭当日は勿論のこと、前日準備の日も楽しそうな声がどの学年からも聞こえていたように感じます。今年のテーマである「物語」に沿って施された飾り付けや黒板アートはどのクラスもクオリティが高く、それを見るだけでも楽しめました。南翔祭二日目は一般公開があり、外部の方が来るということもあって、入場前は緊張などもあったのか少し静かなように感じました。ですが、開始後は一日目と同じような賑やかさになっており、大和南高校の生徒達の明るさが外部の方々にも伝わったかなと思います。南翔祭はクラスや学年問わず協力し合い、全力で楽しめる行事なので、当日も準備期間も楽しめていて、今年も大成功だと感じました。来年は最高学年として、より頑張っていきたいです。

3学年多羅樹委員 Sさん(3-7)

今年度の南翔祭は制限が緩和されて調理ができたり一般公開があったりと、一段と盛り上がった文化祭になりました。短い準備期間のなかで試行錯誤しながらアイデアを出し合い、クラス全体が積極的に準備に取り組む姿が印象的でした。どのクラスの出し物もクオリティが高くて手の込んだ作品がたくさん並べられていて圧倒されました。オープニングセレモニーから始まり、演劇や中夜祭、部活動のステージも体育館が揺れるほどの盛り上がりでとても楽しかったです。毎年恒例の閉会式での先生方のダンスステージも中夜祭に負けないくらいの歓声で、普段見られない姿を見られる特別な時間になりました。3年生は最後の文化祭でしたが1、2年生の時に比べてやっと高校生らしい文化祭が実現できて、一生の思い出に残る2日間になりました。来年度の文化祭も今の2年生が主体となり、今年のクオリティを超えられるようなもっともっと楽しい文化祭にしてください。

3. 社会見学

1 学年多羅樹委員 Yさん(1-4)

今回、私達は社会見学で八景島シーパラダイスに行きました。中学校では、あまりなかった現地集合で集まりました。慣れない場所だったので少し戸惑うこともありましたが、各クラス、各班が無事に着き、集まることができて良かったです。全員集まってからは、各班で回りたいところを話し合いながら、先生から出されていた問題に協力して答えながら回りました。問題の答えを探す時、班の人と「これじゃない？」と声をかけたり話し合いながら、答えを見つけようと協力したので、仲を深めることが出来ました。その他にも、お昼ご飯を一緒に食べたり、イルカショーを見たり、ジェットコースターなどの乗り物に乗ったりして、楽しく過ごすことが出来ました。

まだ、入学したばかりだったのでお互いのことをまだよく知らなかったけど、今回の社会見学で仲良くなり、お互いのことをもっと知ることができました。私が社会見学で学んだことは、お互いを知ることの大切さや、協力する事で仲を深めることができるということです。学んだことをこれからの高校生活、行事など協力することが必要な場で活かしていきたいと思います。

2 学年多羅樹委員 Oさん(2-4)

私は社会見学で楽しい思い出を沢山作りました。私達2年生はまず羽田空港に行き、その後、横浜の町を散策するスケジュールでした。羽田空港までの電車は酔いながらもなんとか羽田空港第1・2ターミナル駅に着き、その後はまだ馴染みきれてない友人達と横浜中華街を歩きました。私はモデルの顔より二回りほど大きい肉まんを食べました。肉汁がいっぱい入っていて、とても美味しかったです。他にもぎりぎり一口で食べられるくらいの小籠包も食べました。熱い肉汁が飛び出て口の中をやけどしました。そのままぶらぶら歩いていたら時間になり、集合場所である横浜スタジアムでクラス写真を撮りました。この社会見学のお陰で、クラスの仲が深まりました。

4. 2学年 修学旅行

2学年多羅樹委員 Mさん(2-3)

僕達 2 学年は修学旅行で沖縄に行きました。沖縄では平和祈念公園に行ったり、ホテルに泊まったり、民泊を体験したりしました。沖縄では勉強のためでもあります、みんなでも色々楽しみました。1 日目は平和祈念公園で平和の大切さや命の尊さなどを学びました。その他にも沖縄戦で亡くなった方の名前が刻まれた石碑（平和の礎）があり、ガイドの方に付いてみんなでもわりました。2 日目以降は各自で選んだコースごとに、シュノーケリングやバナナボート、カヤックなどに分かれて行動し、色々な体験をしました。2 日目の夜からはホテルではなく、民家にお世話になりました。民泊の方たちはとても良い人ばかりでとてもいいなと感じました。民泊では畑仕事やいろいろな体験をしたり、いろいろな場所に案内してもらったりして、沖縄の方々の生活などを学ぶことができました。4 日目は民泊先を出て、国際通りでみんなで買い物などをして過ごし、那覇空港に集合し帰りました。沖縄では本当にいろいろなことを学ぶことができ、今まで以上に戦争の悲惨さを理解することができたり、沖縄の方々がどのように生きているかを学んだりできました。とてもいい修学旅行になったと自分は思います。

2学年多羅樹委員 Wさん(2-8)

私は、小学校以来の修学旅行に行きました。私の中学校では、コロナ禍で修学旅行に行くことができませんでした。なので、高校で行けてとてもよかったと思いました。修学旅行先の沖縄でいろんなことを体験させてもらいました。その中で特に思い出に残っていることは、民泊をさせてもらったことです。現地の人の家で過ごす体験はとても貴重だと思いました。山の上での夜は、星がとても綺麗でした。横浜では見ることができない景色だと思います。他にも美ら海水族館に連れて行ってもらったり、バーベキューをしたりしてとても楽しかったですし、現地のことも知れる良い体験だったと思いました。これから受験がありますが、今回のことを機に頑張っていきたいと思います。

5. 3学年 進路活動

3学年多羅樹委員 Hさん(3-6)

私は中学 3 年生から音楽を始め、高校生活の中で次第に商業作曲家になりたいという目標ができました。知識自体は十分に持っていました、コネクションと個人では磨くことのできないことを勉強したいと考え、音楽系の専門学校に進学することを決めました。受験するにあたって筆記テストや面接はなかったので、高校生活の間は作曲と理論の勉強に時間を費やしました。もし将来、芸術系の道に進もうと考えている方は、特別な理由がない限り大学へ進み、4 年の中で実力をつけていく方法が、自分の進路の幅を広げながら夢を追える良い方法だと思います。私自身、全部が全部間違えた選択だとは思っていませんが、そのような選択肢を選んでいれば良かったと思いつくほどには覚悟のいる選択だと私は考えます。楽をしたい、どこかに所属しているという安心感を得たい、などと軽はずみに選ぶといつか痛い目に会います。最後になりますが、動き出すのは第三者がしてくれるものではなく、いつだって自分自身です。苦しいことから逃げずに目標を達成できるよう計画を立てて動くように心がけたいと思います。

6. 総合的な探究の時間

1 学年多羅樹委員 Kさん(1-6)

僕は水泳の歴史について探究します。小学生の時に四年間水泳を習っていました。そこから水泳の歴史を知りたいと思いこの話題にしました。

水泳の始まりの歴史は、原始時代に狩猟・採取や移動のために泳いでいたと考えられています。古代の水泳は、泳ぐ速さを競うものではなく、生活に必要な手段でした。水泳が泳ぐ速さを競うスポーツとなった発祥国は、19世紀以降のイギリスです。速く泳ぐことを追求した結果、スポーツとなり発展していき、近代オリンピックの第一回大会である1896年アテネ・オリンピックで競技種目に採用されました。日本の水泳の歴史は、武術の一つであったことがあげられています。そして、日本に古来から伝わる伝統的な日本泳法には、発祥地の異なる13の流派があります。上記のことから考察すると、速さを競うものではなく、生活のために活用されていたということが読み取れ、時代の流れとともに競技へと変化していったと考えられます。

2 学年多羅樹委員 Kさん(2-2)

自分は探究の時間の時に負の感情について調べました。ネットなどで調べた結果は「ネガティブ 鬱」と出てきました。そこでなぜ人は負の感情が生まれるのかという疑問が生まれました。調べた結果は「人間関係や社会」というのが出てきました。それについて解決策や実現したい未来像などを書くことができました。これを書くのにどうやって調べるか、どこのサイトがいいか、どうやってまとめるか、ここをどう表現したらいいかを友達に相談しました。その結果、自分なりにそこそこ良さそうなスライドができました。自分も友達のものを手伝ったり、相談したりしてとても新鮮な感覚を感じました。とてもいい経験になりました。

7. 部活動

1 学年多羅樹委員 Nさん(1-1)

私は吹奏楽部に所属しています。今年の4月に入部し、中学同様チューバを担当することになりました。入部直後に自衛隊厚木基地にて高校で初めて舞台上に立って演奏しました。中学とはちがう新しいメンバーとの演奏は、初心に返り新しい気持ちで演奏できました。その後はすぐに吹奏楽部コンクールへ向けて、SLAVIAの練習が始まりました。ほぼ毎日の練習に加え、休日の一日練と、合奏漬けの日々を乗り越え本番を迎えました。結果は銀賞という、あと一步の悔しい結果で終わりましたが、楽しかったという気持ちでいっぱいでした。文化祭では1日目にディズニー、2日目にジブリの曲を演奏しました。メドレー曲が多く、こんなにたくさんの量を一気に練習したことがなかったので、目を通すだけでも一苦勞でした。ですが、本番はたくさんの人に見てもらい、達成感があり楽しい本番でした。先輩たちがアンサンブルコンテストに出場したり、クリスマスにはクリスマスコンサートを行ったりと1年間を通してさまざまな場所で演奏ができて、とても充実していたと思います。3月には定期演奏会という大きな舞台があるので、一生懸命頑張りたいと思います！これからも今年度のように、みんなに楽しく音楽を届けていきたいです！！

2 学年多羅樹委員 Yさん(2-6)

僕は、男子バレーボール部に所属しています。僕が今年の男子バレーボール部での1番の思い出は、色々な壁があったけどみんなで協力して乗り越えてきたことです。僕達が乗り越えてきた壁とは、喧嘩やコロナウィルスなどの身体的なことが多いです。僕は中学生の頃は陸上部で個人競技しかプレイしてこなかったので、他の人と協力して競技をするということが苦手でした。もちろん、僕だけが未経験者ではありません。この大和南男子バレーボール部は、半数の部員が未経験者なのです。なので、今までバレーボールをやってきた人とやってこなかった人で意見の違いなどが出てきて、喧嘩になります。ですが、僕達はすぐにミーティングなど話し合いを行い、何よりも先生の言葉にみんなの心が動かされ、何が悪いとかではなく、こういうことをやっていこうよということで、みんな意見を出しあってきて、今年の男子バレーボール部はいろいろな壁を乗り越えてくることができました。あと半年ほどしかないの、みんなでいろいろな壁に立ち向かっていきたいです。

3 学年多羅樹委員 I さん (3-1)

私は合唱部をやっていました。今年の4月は部活動オリエンテーションがあり、「宿命」を歌いました。体験をしに来てくれた1年生が多くて嬉しかったです。5月は、FM ラジオが開催しているコンサートに出場しました。AEON 鶴間店で「ハナミズキ」、「生まれて初めて」、「365 日の紙飛行機」、「パプリカ」、「栄光の架橋」の計 5 曲を歌いました。「パプリカ」を歌っている時に、幼稚園生くらいの子が踊ってくれていて可愛かったです。8月は、N コンクールに出場させて頂きました。「信じる」、「鳥よ空へ」を歌いました。合唱部として大会に出場するのは初めてだったので緊張しました。惜しくも関東大会に行くことは出来ませんでした。良い経験を出来たと思っています。最後に、文化祭では「青と夏」、「信じる」、「ただ君に晴れ」、「スパークル」、そして3年生のみで「ハッピーエンド」を歌いました。3年生最後の合唱で、部長がずっと泣きそうな顔で歌っていたのを覚えています。この時まで、何度もぶつかり合い、励まし合い、みんなで歌ってこれたことを私は良い思い出だと思います。

3 学年多羅樹委員 W さん (3-4)

私は3年間陸上競技部に所属していました。高校生になると新たな種目が増え、この大和南高校では他の学校でも珍しい棒高跳びが盛んな学校です。陸上競技は1センチ、コンマ1秒が勝負の世界です。その競り合いを勝ち取るため、日々トレーニングに励んでいます。私はもともと長距離を専門にしていたのですが、高校に上がり棒高跳びを専門種目として取り組みました。様々な競技に触れることで自分に合った種目を見つけることができます。また試合で結果を残すためには日々の練習が大切になります。ポイントを押さえた練習はもちろん、仲間と競い合うことで闘争心を持ち、よりレベルの高い練習になります。個人競技ですが、互いに高め合える部活動であり、関東大会、全国大会への目標に向け日々努力しています。

Ⅱ. クラス紹介

クラス紹介

Ⅰ学年多羅樹委員 Nさん(1-1)

私のクラスの1年1組は本当に賑やかなクラスでした。文化祭ではトイストーリーをテーマにミニゲームのできるエリアにしました。口には出しませんが、トイストーリーのあの賑やかさやカラフルさは1組に合っていて良いなと思っていました。最初は賑やかすぎて馴染めませんでしたが、優しく接してくれる友達もできて、賑やかさも耳に馴染み、なんだかんだ良いクラスだったなと思っています。2年生になっても一人一人個性豊かに元気に過ごして欲しいです。

Ⅰ学年多羅樹委員 Kさん(1-2)

私のクラスの1年2組はとても明るく賑やかなクラスです。真面目で落ち着いた子や活発でスポーツの得意な子、誰とでも仲良くなってしまう程のコミュニケーション能力を持った子、流行りものが好きで美意識が高い子など、それぞれが色々な長所を持っていて個性が溢れています。またほかのクラスとの交流も深く、ほぼ毎日違うクラスの誰かが2組のクラスにいることが多いです。勉強面ではクラスの平均点が高いことが多く、とても良かったのではないかと感じています。しかし、この1年間での1年2組のマイナス点は、遅刻してしまう生徒が少し多かったことです。成績にも関わってしまうことなので、学年が上がってからはより一層遅刻をしないよう心がけていく必要があると思います。ですが、まずはクラスがバラバラになっても楽しく学校生活をおくることを第一に過ごして欲しいです。

Ⅰ学年多羅樹委員 Mさん(1-3)

私が在籍するクラスの1年3組は、普段から笑顔と笑い声が絶えない賑やかなクラスです。授業と休み時間のメリハリがしっかりついていて、板書などに真面目に向き合う様子が見受けられます。行事にも積極的に取り組み、体育祭ではクラスが一丸となって競技や応援に参加し、互いに鼓舞し合う姿が印象的でした。文化祭でもその一体感は発揮されており、各々が自分に出来ることを探して行動していました。その結果、少々アクシデントはありましたが無事に完成・出店することができました。少し清聴の態度に欠ける時が目立ちますが、男女間の隔たりもなく、皆仲良しな1年3組。個性的な面々が集まるこのクラスは、私にとって最高のクラスです!

Ⅰ学年多羅樹委員 Yさん(1-4)

私のクラスの1年4組は個性豊かで明るいクラスです。賑やかすぎる時もあり、クラスでまとまることができるか少し心配だったのですが、文化祭や体育祭などの行事では皆が協力し同じ目標に向かうことができました。いざとなった時の団結力は凄く、学年レクでは2回も総合優勝することができました。文化祭では、あまり準備が進んでいなくて間に合うのかなと不安だったのですが、皆が協力して間に合わせることができ、良いものを作り上げることができました。球技大会では、点をとれた時やボールをとれた時だけでなく、ミスをしてしまった時でもプラスの言葉をかける人が多く、凄くいい雰囲気を楽しむことができたと思います。私はあまり話すのが得意ではないのですが、私のクラスの人には輪の中にいれてくれる人が多くて、それがとても嬉しかったです。そんな皆と高校生最初の1年を過ごせて良かったです。

Ⅰ学年多羅樹委員 Tさん(1-5)

僕のクラスである1年5組は元気で明るいです。しかし、いざと言う時はやるクラスです。授業では元気が出すぎて、たまにうるさくなりすぎることがあります。しかし、体育祭や球技大会などでは持ち前の元気でみんなが団結して、真面目に取り組んだことにより体育祭で優勝することができました。また、球技大会ではさまざまな行事の中で絆を深めてきたことにより、みんなが一致団結して、優勝までは届きませんでした。準優勝やいい成績を残すことができました。そのようなことから自分は1年5組のクラスで良かったと思います。2年になっても持ち前の明るさを出して言って欲しいです。

Ⅰ学年多羅樹委員 Kさん(1-6)

僕のクラス1年6組はマイペースで、いざというときに団結力があるクラスだと思います。授業の際は、真面目にコツコツと取り組んでいる姿が見られます。文化祭では、ギリギリまで案がまとまらず、誰もがやばいと焦っていたが、最終的には6組の素晴らしい団結力で完成させることができました。一年の中で一番印象に残っているいい思い出です。また、球技大会では、持ち前の団結力を活かして楽しく試合に臨めたと思います。最初は静かなクラスでしたが、行事などを通して親睦深め、楽しいクラスになったと思います。僕は高校生活最初の一年を1年6組で過ごせてよかったと思います。

1 学年多羅樹委員 O さん(1-7)

ぼくのクラスの 1 年 7 組はみんな元気があり、賑やかで笑顔が絶えないクラスです。授業中でも、積極的に発言していたり真面目な部分もあり、メリハリがしっかりあるクラスだとこの 1 年を通して感じました。行事等に対してもクラスが一丸となり協力している姿が見られ、文化祭でも劇が大成功したり、3 月の球技大会で優勝したりと、とても素晴らしい団結力がこのクラスにあるのだと思いました。

高校最初のクラスが 1 年 7 組でよかったです。

2学年多羅樹委員 Iさん(2-1)

私のクラスの2年1組は明るく元気で、欠席者が2年の中でもダントツで少ないクラスです。これは担任の先生も教科担当の先生からもよく褒められます。また男女共に仲良く、レクや球技大会、体育祭、文化祭ではみんな一丸となって協力しました。文化祭準備では、代表が一人一人に役割を与え、与えられた仕事をみんな真面目に取り組みました。おかげで次の日の文化祭の準備は完璧に終わらせることが出来ました。楽しむ時は全力で楽しんで学ぶ時はきちんと学ぶクラスです。この2年の実績を踏まえ、3年でも欠席のないクラスをつくりあげたいと思います。

2学年多羅樹委員 Kさん(2-2)

私のクラスはみんな元気で明るく積極的でした。まず体育祭では各競技に参加し、みんな協力して練習し、駄目なところはアドバイスし合ったり良いところは褒めたりなど協力して体育祭の練習をしていました。結果は残せませんでした。みんな協力しアドバイスをし合ったりしたことで、とても良い体育祭になったと思いました。文化祭ではまずみんなが知ってそうなもので何をするかを決めるために意見を出し合い、どうやったらみんなが楽しめるかを考えていました。準備の時には、装飾や机の配置を工夫して、来てくれたみんなに何を表現しているかをわかりやすくするために頑張りました。当日は、宣伝を頑張っていました。文化祭の出し物という一つの目標に向かってクラスのみんなと協力したり意見を出し合ったりしてクラスの絆が深まったと思いました。修学旅行ではまず飛行機に乗るときに緊張したりそわそわしていたりしていましたが、飛んだ時はみんな楽しそうでした。沖縄では歴史や自然を感じたり、みんなと遊んだりしました。修学旅行に行き、さらにクラスの絆が深まったと思いました。

2学年多羅樹委員 Mさん(2-3)

僕のクラス2年3組はとても楽しいクラスです。ふざけている時はふざけていますが、真面目にやる時はみんな真面目にやるクラスです。そういう面に関してはしっかりとメリハリがあり、とてもいいクラスだと思っています。文化祭では一致団結して焼きそばを作りました。みんな協力し合い調理部門大賞をとることが出来ました。このクラスは前に立つ人がいて、その人を信頼した結果だと思っています。また球技大会では放課後練習している人たちを目にすることがありました。こういうところでも練習などをしてしっかりと取り組んでいる姿勢は他では見られない良いところだと思っています。授業に面白さ楽しさを増やしてくれる人もいてとてもいいクラスだと思っています。最後にこのクラスはとても面白くて楽しいクラスです。

2学年多羅樹委員 Oさん(2-4)

私のクラスである2年4組は明るく元気のあるクラスです。初めての頃はとても静かでしたが、日が経つに連れてだんだんと賑やかになっていきました。社会見学の際はまだ壁があるように感じましたが、体育祭や修学旅行のイベントをこなしていったらとても仲の良いクラスになりました。文化祭では準備期間ぎりぎりまでほとんど何もしていませんでしたが、前日には完璧に仕上げられていて、クラスの団結力の高さに驚かされました。出し物も大成功に終わってとてもいい思い出になりました。3年生になっても2年生で得た経験を活かして行って欲しいです。

2学年多羅樹委員 Sさん(2-5)

私のクラスである2年5組は、いつも賑やかで明るいクラスです。休み時間毎に話し声や笑い声が絶えず、授業中も積極的に発言をする生徒が多いです。少しやんちゃな所はありますが、協力する時はしっかり協力するクラスだと感じます。他クラスと交流が多い生徒が多数いるのも特徴だと思います。また、文化祭などの学校行事にも意欲的でした。モチーフにする作品や、何かを決める際も多く意見が挙がりまし、小道具作成も手分けしてスムーズに進んでいました。3年生になっても、"明るさ"という長所を無くさずに過ごして欲しいです。

2学年多羅樹委員 Yさん(2-6)

僕のクラスである2年6組は行事を思いっきり楽しむようなクラスです。社会見学では沢山のひとと仲良くなろうと沢山のひとが声をかけてくれたり、体育祭ではクラスが一丸となって協力をしたり、文化祭ではクラスメイト一人一人の個性を思う存分に出したり、球技大会ではどのクラスよりも大きな声で応援をするような最高のクラスです。僕は1年生の時、クラスに馴染むのが苦手でした。でも、2年生は今までで一番楽しいクラスだと思いました。今の僕があるのは、クラスの友達や担任の先生がいたから今の僕があるのだと思います。僕のこのクラスでの1番の思い出は行事後の打ち上げです。打ち上げでは、男女関係なくあまり話したことの無いひとと話するような機会だからです。またこのクラスで集まったら嬉しいです。僕は1年間2年6組で過ごせてほんとに楽しかったです。

2学年多羅樹委員 Yさん(2-7)

自分のクラスである2年7組はいつも元気で明るいクラスです。いろんな教科担当の先生方にも言われるほど賑やかで個性豊かな生徒が多くいました。体育祭や文化祭、修学旅行などの行事ではクラスみんなが積極的に参加し、クラスひとつと団結することができて、とても楽しい行事になりました。球技大会では女子も男子もバレーの競技で優勝することが出来、担任の先生が中心とし盛り上がることができました。普段の授業もクラスのみんなが明るく常に楽しい授業にしてくれて毎日充実した学校生活を送ることができました。明るく元気で2年7組で過ごすことができてとても楽しかったです！

2学年多羅樹委員 Wさん(2-8)

私のクラスである2年8組は、一人ひとり個性豊かで楽しく、飽きないクラスです。授業中は静かで盛り上がるころでは盛り上がりがあって、メリハリがとてもひいていて良いクラスです。10分休憩では、次の授業の準備をしっかりとっていて3年生の器があると思いました。昼休みでは、しっかりとご飯を食べて午後の授業の準備をしました。放課後は残って遊んだり部活をしたりしてとても楽しそうでした。

3学年多羅樹委員 Iさん(3-1)

私のクラスは学校行事を全力でやれるクラスです。まず、体育祭です。優勝することはできませんでしたが、学年では1番団結できていたのではないかと思います。みんなで精一杯声を出し、協力をしました。次に、文化祭です。文化祭ではみんなでいろいろな案を出した結果、調理をすることになりました。係の人が率先してサポートをしてくれたおかげで、スムーズに行動することができました。楽しく文化祭を終えました。最後に、球技大会です。球技大会ではドッジボール以外の競技が決勝トーナメントに進出しました。ドッジボールは残念ながら1回戦目から強いクラスに当たり負けてしまいました。サッカーのチームはゴールするたびに喜びを身体に表して楽しそうでした。サッカーや、バスケットボールも点を決めるたびに「ないすう！」等の声掛けをされていて、見ているだけでも嬉しい気持ちになりました。こうして、クラスのみんなが全力で行事に取り組めるのは担任の先生のおかげだと思います。ありがとうございます。

3学年多羅樹委員 Iさん(3-2)

私のクラス3年2組は、担任の先生との仲がとても良く、行事に対して協力的なクラスだと感じました。もっとも印象に残ったのは文化祭です。理由としては、文化祭に対するひとりひとりの取り組む意欲がすごく、クラスの絆が深まったと思いました。出し物は、ITを舞台としたホラーをイメージしました。予想以上にできが良く、文化祭当日はみんなの協力があり、無事に終了することができました。結果的に出し物の部門で一位に選ばれることができ、3年生最後で思い出に残る文化祭になったと思います。また普段の授業では、発言が多く休み時間とのメリハリがある良いクラスだと思いました。みんな優しく困っていたことがあれば助け合うことのできるクラスだと感じました。高校生活最後の一年をこのクラスで過ごすことができ、とても嬉しく思います。

3学年多羅樹委員 Fさん(3-3)

3年3組はクラス仲が良く賑やかでやる時はやるクラスです。体育祭では自分のクラスだけでなく同じ団の人達と競技に取り組むことで、1位は取れませんでしたがとてもクラスの仲を深めることができたと思います。また昨年よりも近くで応援をすることができたのでとても盛り上がることができました。文化祭ではクラス全員で団結し取り組むことができました。昨年まではコロナウイルスの影響で調理ができませんでしたが、今年からできるようになり私たちのクラスは調理に挑戦しました。初めてでわからないことも多く大変だなと感じました。教室のイートインスペースの装飾は全員で丁寧に作成し、教室で調理ができないのが少し残念でした。また、どうすれば効率よく料理を作って提供できるかなどのたくさんの意見を出し合いクラス全員で団結することで、当日はとても忙しく大変

なことが多くありましたが印象に残る文化祭になりました。このクラスで過ごせる時間は残り少ないですが卒業まで思い出をたくさん作っていただけたらいいなと思います。

3学年多羅樹委員 Wさん(3-4)

3年4組は「明るい、賑やか、楽しい」クラスです。一年間を通し様々な行事がありましたが、一つ一つの行事に対し全力で取り組める素敵なクラスだなと感じました。体育祭ではリレーだけでなく全ての競技に向き合っており、文化祭では恐竜をモチーフにした出し物を工夫しながら創ることができました。いつも賑やかで個性的な人が多くとても楽しかったです。担任の先生に支えてもらうことも多かったですが、一緒に行事を楽しめる素敵なクラスだったと思います。最後の一年「楽しかったな」と思えた最高の一年でした。

3学年多羅樹委員 Aさん(3-5)

僕たちのクラスは明るくて団結力があるクラスだなと思います。授業中に携帯が鳴ってしまっても笑って見過ごしてくれたり授業中もお互いに答えを教え合って回答をしたりなど団結力がすごいなと感じます。体育祭そして文化祭も団結力を生かして無事乗り越えることができ、交流を深めることができました。球技大会ではあまりいい結果は出せませんでしたがみんなで放課後練習したり作戦を立てたりと楽しい思いをすることができました。時には補欠で違うスポーツに助けに行くこともあり団結力がすごいと思います。こんなクラスで過ごせるのもあと2ヶ月ほどでまだまだ思い出を増やしたいので学校休まず登校したいです。

3学年多羅樹委員 Hさん(3-6)

私のクラスは明るく活気あふれるクラスです。クラスメイトはもちろん担任もフランクで接しやすく、間違っことはハッキリと指標を示してくれる良い先生です。

体育祭や文化祭など行事は団結しクラス全体で楽しみました。特に文化祭は脚本を一から立てた劇を体育館ステージで披露しました。道具製作や演出、演者が互いに連携を取り本番までに一つのものを作り上げ、クラスの団結力が深まったと実感した文化祭になりました。

普段の学校生活では、静かに授業を聞き、やることはキチンとやる規律の良い人が多いです。クラスメイトに配慮もよく見られ、クラスとしてとても良い雰囲気作りができています。卒業が間もなく近づいて来て、登校する日にちも数えるほどになりましたが、3年6組で良かったと最後に思えるようなクラスでいたらいいなと思います。

3学年多羅樹委員 Sさん(3-7)

私のクラスは行事ごとではみんなが全力で取り組み、一致団結し成果を出すことができるクラスです。理系と文系が集まっていて、履修科目が違うので全員が集まる授業は少ないですが、みんなが揃った時は楽しく授業を受けています。定期試験の英語では、ワースト1位を取ったこともあります。普段はメリハリがあるクラスだと思います。また、文化祭ではコーヒーカップを1から作り、試行錯誤しながら楽しみました。球技大会でドッチボールで1位になることができたのも思い出です。担任の先生も優しく、時に厳しくクラスをまとめてくださって、受験の時もたくさん相談にのっていただきました。最後にふさわしいクラスで残り少ない学校生活を楽しまたいと思います。

3学年多羅樹委員 Mさん(3-8)

私達3年8組はメリハリがあるクラスです。授業中は静かに集中して受けていますが、行事では声援が大きくみんな全力で取り組みました。球技大会では、総合優勝とサッカーの競技で優勝しドッチボールも2位と好成績でした。他にも体育祭では、白団で優勝など運動行事ではいい結果を残せています。また、卒業式歌の練習ではクラス一丸となって全力で取り組んでいました。進路では一般受験の人が多く、クラスみんな協力し、集中して静かに授業を受けました。このように、3年8組は行事にはきちんと全力で取り組み、授業では静かに集中してメリハリのあるクラスです。

Ⅲ. 各教科における取組

国語科

国語科の教員として1年間の授業の中で、「深い学びにつながるICTの利活用」を目標に授業を実践しました。

ICTを活用することによるメリットとして以下のようなものが挙げられると考えています。

1. 時間効率の向上

…板書の時間を減らし、その浮いた時間をアウトプットする活動に充てたり、復習の時間に充てたりすることで、より深い学びにつなげることができる。

2. 意見の共有

…初読の感想(様々な感想文)や文章読解の解答を共有することで、自分とは違う価値観、考え方に触れ、考え方の幅を広げることができる。

3. 表現する力の育成

…スライドの作成(何を書いて、何を話すかを整理する)や発表活動を通して、表現力の向上を図ることができる。


4. 知識の定着

…既習事項のプリントを、画面で映して確認したり、フラッシュカード形式の問題形式したりすることで知識の定着を図ることができる。

具体的な取り組み①意見の共有(文章読解) スプレッドシート

4	「読者の心」とは				読者の名前 (※) 漢字
3	問題 番号	ページ	時	読解式	解答
1	1	18	9	何が「心」なのかを問う。	
2	2	18	9	「読者の心」とは、どのような心で書かれているのか。また、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。	
3	3	19	9	「心」は、どのような心で書かれているのか。また、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。	
4	4	20	9	「心」は、どのような心で書かれているのか。また、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。	
5	5	20	10	「心」は、どのような心で書かれているのか。また、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。	
6	6	20	10	「心」は、どのような心で書かれているのか。また、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。	
7	7	20	10	「心」は、どのような心で書かれているのか。また、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。読み手は、どのような心で書かれているのか。	

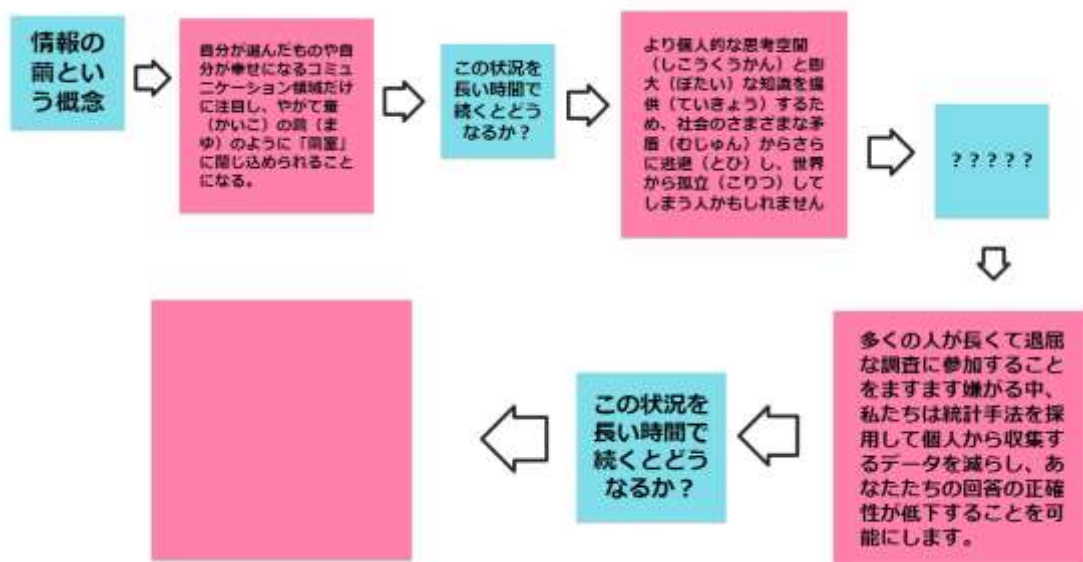
- 1.問題になっている箇所にマーカーを引く(教科書) ⇒2.下の問題に個人で取り組む(まずは自分で考えること) どの問題を解くのかは、指示を出します。
- 3.次にグループで取り組む(全員で全問正解を目指す) ⇒4.すべての問題を解き終わったら、前に持ってくる。ここの意欲を成績に反映します。
- 5.解答の説明を聞く。模範解答をしっかりと入力すること。

実際の指示文書 

具体的な取り組み②意見の共有（文章読解） Google フォーム



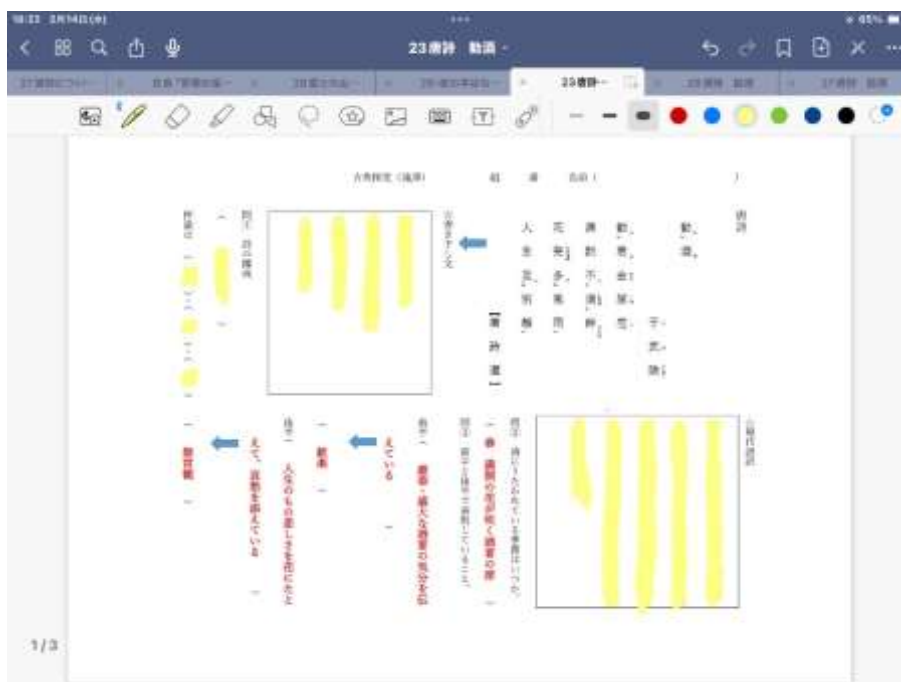
具体的な取り組み③意見の共有・他者からのコメント ジャムボード



自分が調べたことをまと、そのまとめた文章について、質問やコメントをもらう。スプレッドシートなどと比べると、ジャムボードの方がチャットのような感覚で入力できるため、早いペースで入力が進むという実感がある。どんどんコメントや意見が欲しい時には活用で

きる。

具体的な取り組み④時間効率の向上 Goodnotes の使用



解説をしながら黄色い部分を消していく。板書と比べると大幅に時間効率を上げることができる。モニターに映すと見えづらいという生徒がいるため、画面共有を行い、タブレット端末に映す。

具体的な取り組み⑤知識の定着 フラッシュカード形式 Goodnotes の使用



以上、1年間を通して ICT を活用することのメリットと具体的な活用例です。

縄文時代の人々の人口分布の考察 縄文時代と弥生時代の人口分布の変化

(日本史探究 地理歴史・公民科)

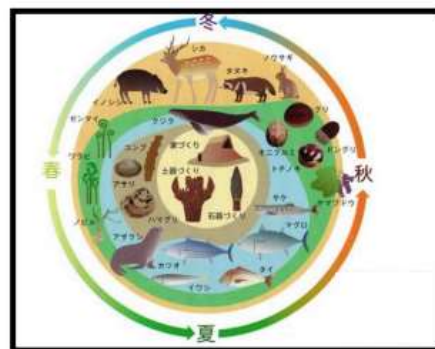
今回は第2学年日本史探究の①「縄文時代の人々の人口分布の考察」②「縄文時代と弥生時代の人口分布の変化」の授業を紹介します。

資料1 縄文時代中期の人口分布図



引用：<https://www.cool-susan.com/2016/02/01/%E7%B8%84%E6%96%87%E6%99%82%E4%BB%A3/>
(最終アクセス:2024年2月16日)

資料2 縄文時代の人々の食料



出典：工藤雄一郎 2014 「縄文人の植物利用」
引用：かながわの遺跡展 「縄文の海 縄文の森」第3回特別公演
<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/95200/887381.pdf>

①「縄文時代の人々の人口分布の考察」

この授業では以下のQ1～Q4までの問いを通じて、縄文時代の人口の分布を考察していきましょう。

- Q1,資料1の地図を見て、気づいたことを書いてみよう。
Q2,資料2の縄文時代の食料カレンダーを見て、気づいたことを書いてみよう。
Q3,落葉広葉樹林と照葉樹林では、動物が住みやすそうなのはどちらだろうか？
Q4,ここまでを踏まえて、縄文時代の人々がなぜ東日本に住んでいるのか文章でまとめてみよう。

資料1の地図は縄文時代の人口分布を色分けして示した地図となっています。この図を見て分かる通り、縄文時代の人口は東日本に偏っています。なぜ、このようなことになっているのかを他の問いを通じて考察しました。

資料2の縄文時代の食料カレンダーの読み取りでは、生徒は縄文時代の人々が多様な食料を食べていたということに気がつきました。その後、季節によって食べる食料が変わっていることを読み取っていきました。また、これ以前の授業で習った、縄文時代の人々の生活は狩猟と採集で成り立っていたという内容と結び付けました。

Q3ですが、本校で用いている教科書である山川出版社の『詳説日本史』のp9には「東日本にはブナやナラなどの落葉広葉樹林が、西日本にはシイなどの照葉樹林が広がった。」という記述があります。この記述と狩猟をするうえで必要不可欠な動物の関連性を探るのがQ3のねらいです。関連性を探るにあたり、生徒を各々が持っている端末を用いて調べ、最終的には落葉広葉樹林が動物の生息には適した環境であるということにたどり着きました。

Q4ではQ1～Q3までの考察をつなげていくことで、縄文時代の人々が東日本に住んでいる理由をまとめていきました。

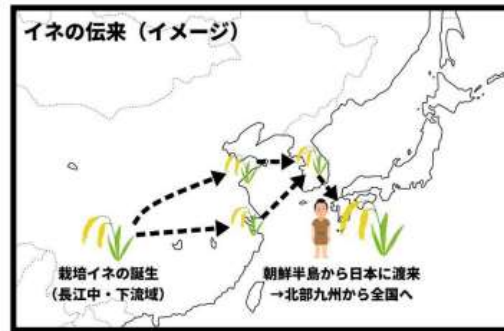
②「縄文時代と弥生時代の人口分布の変化」

資料 3 弥生時代の人口分布図



引用: <https://www.cool-susan.com/2016/02/01/%E7%B8%84%E6%96%87%E6%99%82%E4%BB%A3/>
(最終アクセス:2024年2月16日)

資料 4 稲作の伝来



引用: <https://liberal-arts-guide.com/yayoi-period-rice-cultivation/>
(最終アクセス:2024年2月16日)

先ほどの資料 1「縄文時代中期の人口分布図」と資料 3「弥生時代の人口分布図」を比較してみると、弥生時代には西日本には多くの人が住んでいたことが読み取れます。この授業ではなぜ、西日本の人口が増えたのか、また、なぜ日本全体の人口が増加したのか考えていきました。

考えていく際に、この授業よりも前に学んだ、稲作の伝来と関連させていきました(資料 4)。稲作は朝鮮半島から九州に伝来したことが資料 4 から分かります。

ここで重要になってくるのが、縄文時代の食料との比較である。今回紹介している「縄文時代の人々の人口分布の考察」の授業で人々は狩猟と採集をすることで生活を成り立たせていた。弥生時代になると狩猟・採集に加えて、資料 4 で見たように、稲作が普及していました。では、稲作と狩猟・採集は何が異なるのか?それは自分で食料を育てることができるかどうかです。狩猟・採集は自然環境に左右されます。それに比べ、稲作という自ら食料を育てる技術が伝来したことは生活の安定化を意味します。以上の点を踏まえて、最後は生徒がまとめていきました。

①、②の授業を通じて、人々の生活は食料と関連していたこと、稲作の伝来がどれほど人々の生活に影響を与えていたのかを理解していきました。

生徒の考察

①「縄文時代の人々の人口分布の考察」

・東日本は動物が住みやすいため、生き物が多く生息していた。
食料が豊富だから、冬に比べ、西日本は照葉樹林が広がっていたため、食料が豊富でなかったから、生活していた。
★ 狩猟と採取を行っていた！
↓
・植物性食料の動物が少なかった東日本に人は住みやすかった。

②「縄文時代と弥生時代の人口分布の変化」

南の方に人が増えた。貿易
東日本に稲作が伝わり、自分たちで食料を作って保管できるようになったため、人の数も人口もどんどん増えていき、食料の少ない南でも住めるようになった。

・縄文時代より弥生時代の方が人口密度が高い
弥生時代は近畿地方の人口が増えている
↓ なぜ？
九州 → 朝鮮 → 東日本
稲作の普及で人口が増えた

東日本にある落葉広葉樹林は動物が西日本（照葉樹林）に比べて住みやすいため、採集と狩猟で暮らしている縄文人にとって東日本の方に多く住むのだったと思う。

・人口急増的に増えた。関東、関西に特に多かった。
・弥生時代、西日本の人口が増えた。
↳ 稲作が九州に伝わり、その後東日本にも伝わり、
東日本に比べて稲作が伝わるのが遅い → 稲作が伝わるのが遅い
・稲作の伝来 → 生産の始まり、西日本の生活が安定する

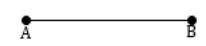



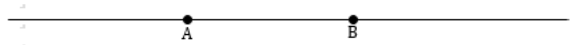

数学科

1 学年数学

今年度の1学年「数学A」の授業では、ICTを活用し様々な単元を学んでいきました。「図形の性質」という分野の「三角形の性質」という単元では、線分の内分・外分の授業を、スライド、ワークシート、数学ソフトを用いて行いました。内分・外分では「比」を扱います。そのため、スライドを活用して「比」について復習をしてから授業に入りました。ワークシートは、内分、外分の2つに大きく分かれており、特につまずきやすい外分に関しては、外分①、外分②というように細分化をして理解の定着を図りました。また、内分・外分の比と、内分点・外分点の位置関係にどのような法則や関係性があるのかを、周りの人と話し合いをして考え、全体で共有する時間を設けました。自分以外の人考えを聞くことで新たな発見が見つかる生徒も何人かいました。ワークシートの裏には演習問題を作り、答え合わせをfunctionview という数学ソフトを用いて行いました。実際に線分上の点を動かすことで、比が連続的に変化していく様子を視覚的に表しました。

この授業では、ICTを活用して教員が生徒に「見せる」ことを行いましたが、今後は生徒自身が「使う」ことができるICTの活用を行っていきたく感じました。

↓ワークシート（表）

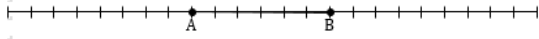
数学A 3章 図形の性質 1節 三角形の性質 ____年 ____組 ____番 氏名 _____	目録
<p>① 内分</p> <p>次の条件を満たす点Pについて考えてみよう。</p> <p>条件1 点Pは線分AB上において、点Aとも点Bとも異なる点である。</p>  <p>条件2 点Pは線分AB上において、点Aとも点Bとも異なる点で、$AP:PB=3:1$である。</p>  <p>このとき、点Pは線分ABを3:1に <input type="text"/> するとい、点Pを <input type="text"/> という。 一点Pは線分BAを <input type="text"/> : <input type="text"/> に内分する。</p>	<p>③ 外分 その2</p> <p>次の条件を満たす点Qについて考えてみよう。</p> <p>条件 点Qは直線AB上にあるが、線分AB上にはなく、点Aとも点Bとも異なる点で、$AQ:QB=1:3$である。</p>  <p>このとき、点Qは線分ABを1:3に <input type="text"/> するとい、点Qを <input type="text"/> という。</p> <p>考えてみよう。</p> <p>○外分点が線分ABの右側にあるときと左側にあるときの違いは何だろう。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>
<p>② 外分 その1</p> <p>次の条件を満たす点Pについて考えてみよう。</p> <p>条件1 点Qは直線AB上にあるが、線分AB上にはなく、点Aとも点Bとも異なる点である。</p>  <p>条件2 点Qは直線AB上にあるが、線分AB上にはなく、点Aとも点Bとも異なる点で、$AQ:QB=3:1$である。</p>  <p>このとき、点Qは線分ABを3:1に <input type="text"/> するとい、点Qを <input type="text"/> という。</p>	<p>例題 下の図において、次の(1)~(4)の空欄に当てはまる数字や言葉を答えなさい。</p>  <p>(1)点Cは線分ABを <input type="text"/> : <input type="text"/> に <input type="text"/> する。 (2)点Bは線分ACを <input type="text"/> : <input type="text"/> に <input type="text"/> する。 (3)点Cは線分BAを <input type="text"/> : <input type="text"/> に <input type="text"/> する。 (4)点Aは線分CBを <input type="text"/> : <input type="text"/> に <input type="text"/> する。</p>

↓ワークシート（裏）

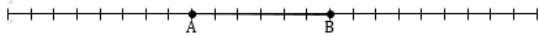
問題2 教科書 p57.

次の点を下の数直線に図示せよ。

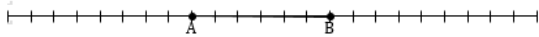
(1) 線分 AB を 5 : 1 に内分する点 P.



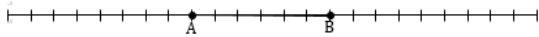
(2) 線分 BA を 2 : 1 に内分する点 Q.



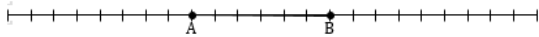
(3) 線分 AB の中点.



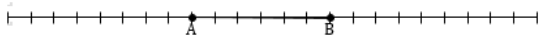
(4) 線分 AB を 7 : 1 に外分する点 R.



(5) 線分 AB を 5 : 11 に外分する点 S.



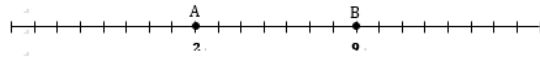
(6) 線分 BA を 2 : 5 に外分する点 T.



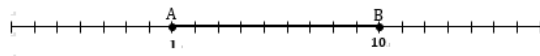
★挑戦してみよう。

次の点を下の数直線に図示せよ。また、そのときの点の値を求めよ。

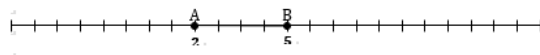
(1) 線分 AB を 3 : 4 に内分する点 U.



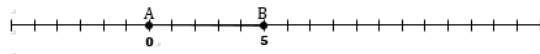
(2) 線分 AB を 3 : 4 に内分する点 V.



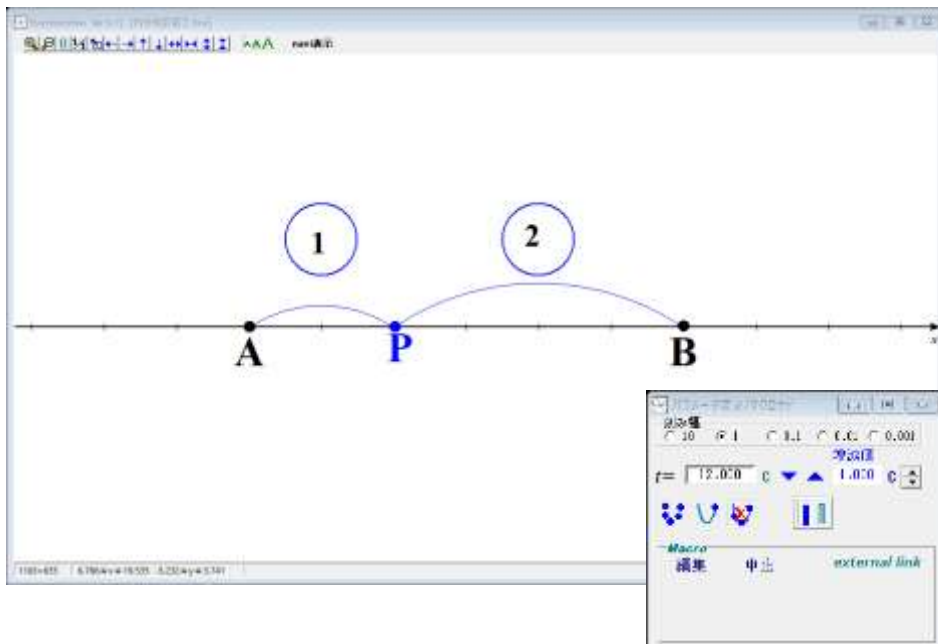
(3) 線分 AB を 3 : 1 に外分する点 W.



(4) 線分 AB を 3 : 1 に外分する点 X.



↓ functionview による内分の図



2 学年数学


今年度の2 学年数学Bの授業では、「統計的な推測」という分野でICTを用いた授業を行いました。こちらは新課程の学習指導要領で追加された範囲で、上の学年も履修していない分野です。統計学の内容は難易度が高く、統計学上での専門用語が数多く登場し、高校生にはとっつきにくい印象を受けます。また、計算を行うこと自体は簡単ですが、公式が成り立つまでの過程に大学数学の知識が登場し、「なぜそのようなことを考えるのか」が分かりづらいため、推定の手法は教科書の問題を解くだけでは理解が深まりづらいついていました。

そこで、今回はグループをつくって実際のデータを無作為抽出し、母平均の推定を行うことにしました。扱うデータは人気 You Tuber の動画再生数で、平均動画再生数はどの位あるのか調べたところ、約 300 万回再生であることが分かりました。この数字を出すために、授業で習った式に実際に代入し、グループで値を出すことで、本来の値を扱うにはかなり苦労することを実感したと思います。また、そのデータを抽出する作業も自分達で行ったため、母集団(すべてのデータ)を調べることはかなり困難であることも理解してくれたと思います。


今回扱ったデータは、生徒達も身近に興味のあるデータであったため、積極的に取り組むことができたようです。授業中に習った用語(特に分散、標準偏差など)の意味を踏まえ、You Tube のデータであれば何を指すのか、値が意味することは何かを理解し、考えを深められたと思います。今後、自分がデータを読むときに裏の背景、値の指す意味を理解しながら読めるようになり、自身の興味があるデータを調べられるようになっていたら幸いです。

(参考)以下は実際に生徒が扱ったデータのまとめの一部です。

2年8組 名前()									
グループ 4									
検索順	動画再生数		グループ						
1	2669095		1						
2	3178172		2						
3	4315511		3						
4	3315274		4	$4721482.142 \leq m \leq 5892795.864$					
5	3178172		5						
6	18577728		6						
7	36088								
8	1548606								
9	11967798								
10	20734637								
11	3863945								
12	107114								



遺伝子組み換えによって つくられるもの ～青い薔薇～



～テーマを選んだ理由～

中学生の理科の課題で似たようなテーマについて調べてまとめたことがあるからです。中学の頃よりも色々な知識が増えたと思うのでまた一からまとめていきたいと思ったからです。

含まれている色素

一般的に売られている薔薇

- シアニジン(赤色)
- ペラルゴニン

遺伝子組み換えによる薔薇

- シアニジン
- デルフィニン(青色)

↳ 他にはない！

青色の色素を入れるには、、、。

青い花(リンドウなど)から青色遺伝子を取り出しておく

* カルスを培養する

1. カルスに青色遺伝子を導入し選抜
2. 青色遺伝子が入ったカルスを増殖
3. カルスから植物体に移動する
4. * 閉鎖系温室で育成

あとは開花するのを待つ

カルスとは

細胞の機能や形態がまだ分化していない不定型の細胞の塊

閉鎖系温室とは

遺伝子組み換え植物を栽培するために必要な温室

発見された課題

- 青い薔薇は人工的に作られたものであって自然界には存在しない。

なので、自然界に青い薔薇を植えたとしても長くは育たないだろう

- 「青い薔薇」と言っているが色的に言えば青紫である
青色色素100%ではない



感想・まとめ

調べてみて、この薔薇を作るのに約2年ほどかかったそうなので時間を短縮できるように色々と改善していくと良いと思いました。また、自然界で生きられるようになれば結婚式や生花などにも役立てると思いました。

ECI Golden Week Task

☆提出はゴールデンウィーク明けのはじめの ECI の授業です。

☆ゴールデンウィーク明けのはじめの授業でグループに分かれて発表
します。

☆余裕をもって課題に取り組みましょう。

☆Task1

Please find an easy and healthy breakfast recipe on the Internet and write here in reference to textbook.

☆Task2

You have an exchange student.
Please introduce good Japanese food to the student.

Situation: An exchange student came to Yamato Minami High School recently. He / She has spent only a few days in Japan. So, please tell him / her Japanese famous food concretely.

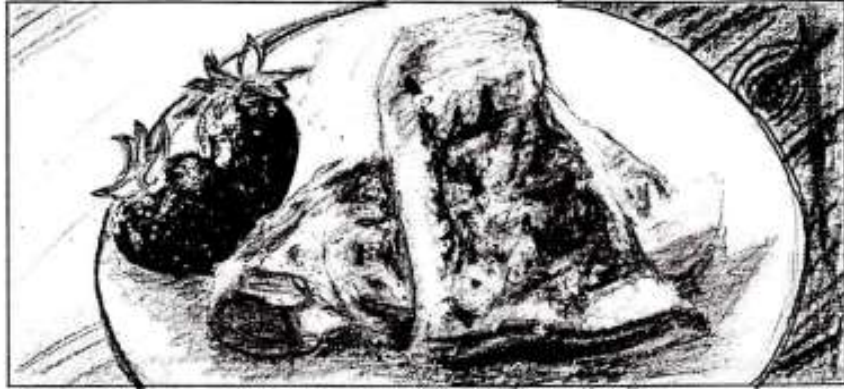
Step1: Brainstorm what you might introduce good Japanese food to the student.

Step2: Research and write out the following information about the Japanese food you chose.

★Task1

• Picture (Paste this paper or draw a picture.)

*写真添付または絵を描く



材料

• Ingredients

- bread
- egg (2)
- sugar (1 Teaspoon)
- milk (150mL)
- butter (10g)

作り方

• Method

- ①. Cut the bread in half
- ②. two eggs, 1 teaspoon sugar, milk 150mL. mix together.
- ③. Melt the butter. Soak the whole bread
- Heat one side of the bread over medium heat for about 2 minutes.
- ④. Turn it over and heat it for 2 minutes.
- ⑤. Open the lid and put it on the fire for 30 seconds.

• Characteristic

French toast is into an eggs. And, The ears of bread are soft. If you put honey and sugar on it, it will be even more delicious.

• Why did you choose it...?

Because I still remember the taste of my own French toast. I wanted to eat it again.

★Task2

Food name

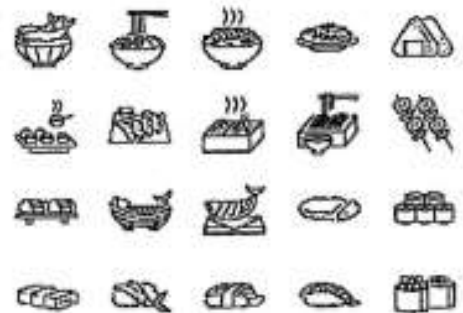
Food name is "Natto"

Recommended points

It's very sticky and has a melty texture. Natto contains a lot of nutrients. For example, calcium, protein, cholesterol, etc. contain nutrients that make us happy.

Taste

Natto doesn't have much of its original taste, but the smell is very smelly. It depends on your taste, but, if you put noodle soup or soy sauce on it, it goes well with rice.



Visual

It has a brown color. It's very stinky, and the natto thread is growing

Why did you choose it...?

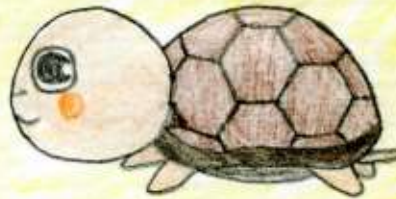
Because there was a gap between appearance and taste, and I thought it would attract the interest of foreigners.

The Story of Turtles

Bibi



Kûtarô



Chibi



Once upon a time, there were two turtles. Their names are Bibi and Kutaro. Bibi is Kutaro's older sister and Kutaro is Bibi's younger brother. They lived together in the woods.

One day, they went to the river to get water. After arriving at the river bank, they found a turtle which is weak. Bibi asked the turtle, "What's up?". He said, "I haven't eaten or drunk anything for three days." Bibi and Kutaro decided to help him, so they took him to their home.

After getting home, Bibi gave some fruits and water to him. He said, "My name is Chibi. Thank you for your help." And, Kutaro went to the river again because he couldn't get water. But, he couldn't get water because he got lost. Three hours later he was able to go home. After that, Bibi, Kutaro, and Chibi lived together.

Into The Unknown



written by



Once upon a time there was a girl named Emmy on an island who admired the other side of the sea.

Emmy had a dolphin friend Colie.

Emmy and Colie promised to go across the ocean together when they grew up.

Every day, Emmy and Colie dreamed about what the ocean would look like.

Colie was small, so his fellow dolphins laughed at him, saying that with such a small body, the waves would push him back before he could go across the ocean.

One day Emmy came to the sea with a sad face.

There was no medicine on this island despite Emmy's mother being ill.

Colie had heard that the country across the sea had medicine that this island didn't have.

"Ride me, let's go across the sea."

Emmy and Colie left the island.

The sea was so wide that it was hard to see the land.

But Colie kept swimming day after day.

A spear-like rain began to fall and a storm came.

In addition, the big wave swallowed two people.

They swam desperately but were swallowed by a big wave.

When Emmy and Colie noticed, the calm sea was spreading in front of them.

They were being rescued by a big whale.

Where are you going? asked the whale.

The whale showed them a port with good medicine.

Emmy and Colie swam towards the harbor.

And finally reached the harbor.

Finally, after a long journey, they were able to obtain and deliver the medicine.

Emmy and Colie were able to go across the ocean they dreamed of and help their mother. Happily ever after.

Run away from
Zombies!



One day, it was night when she got out of bed. But there were not people in the house or outside. Moreover she heard a powerful noise from outside. She felt very scared when heard the sound. On the other hand, I wanted to know what happened. And when she went outside, there were many zombie outside. There were also her parents who became zombies. When I was surprised, I was found by another zombie. She ran away from the place. She didn't understand what happened. But I thought I had to help everyone. Then an old man who has not become a zombie appeared there. And she decided to go to the safe old man's house.

The old man told me about zombies. Zombies appeared in this town 20 years ago. We didn't know the cause. And we were scared every day. One day, a monk appeared. The monk was surprised to see this situation. But soon a monk sprayed this town. Then the zombies disappeared. We heard about the spray. Then the monk told me that you can get it while the person is sleeping. Everyone thanked the monk. She heard it and tries to find the monk. Then the old man says he doesn't know where the monk is now. Old man says we should find another way. She thought so much. And she came up with an idea. But I have to go back to my house to do that idea. I went outside with old man so that the zombies wouldn't find me.

When I got home, I started getting ready for bed. She likes to sleep. So I thought I'd sleep and save gas. The old man will fight zombies while she sleep. When she got up, there was a lot of gas. But while I was sleeping, this town became full of zombies. So she need to sleep more. She slept more than before. There was a lot of gas in the bottle when she woke up. And she gave off that gas. Then the zombies disappeared one after another. And she sleeps again.

When she wake up, she was sleeping in my bed. When she asked my parents about it, they didn't seem to remember. She never saw the old man again. And she decided to keep this to myself. she started to sleep again.

fin

HTMLとCSSを活用したHP作成

情報科は新学習指導要領に合わせ、昨年度より「情報Ⅰ」の授業がスタートしました。情報Ⅰは、以前までの「社会と情報」と「情報の科学」を組み合わせた内容となっています。その中でもプログラミング学習の実施が大きな変化となっており、プログラミング学習を通じて論理的な思考力を育成することに力を入れています。今年度は、「HP作成」ができるようになるために、はじめにHTMLとCSSについて学び、その2つを活用してHPを作成する実習を行いました。

実習について

HTMLとCSSについて理解を深めるために「ライフイズテックレッスン」という教材を活用しました。この教材では、キャラクターが解説をしながらHP作成を順序通りに進められるようにガイドをしてくれます。HTMLとCSSは英語で書く必要がありますが、ガイドがあることで生徒も戸惑うことなく制作の練習をすることができます。

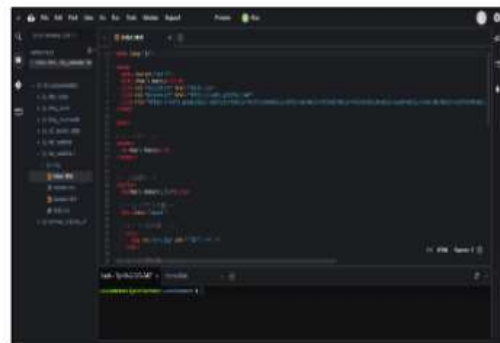
「ライフイズテックレッスン」で練習した後は、生徒自身が紹介したいテーマを設定シートを活用して決定し、HP作成をしていきます。実際のHP作成では、「Cloud9」というインターネット上でコードを書くことができるクラウドエディタを使用しました。こちらも英語で書かれていますが、「ライフイズテックレッスン」の中に使い方のガイドがあるため、生徒たちはガイドを参考に作成しています。

オリジナルWebサイトテーマ設定シート

① 何为主题にしたWebサイトを作る？
目的は誰のための、誰かに伝えたいものを考えてみよう！

② 誰に薦めたい？
このテーマを、すでに知っている人？ まだ知らない人？

③ 薦めたい人になんて薦めたい？
Webサイトを薦めた後によって欲しい行動、薦めて欲しい一言を考えてみよう！





2023年度多羅樹委員会

3年1組 飯島 千夏	2年1組 石川 玲那	1年1組 根岸 ころろ
3年2組 石田 遼太	2年2組 川田 洸輝	1年2組 菊池 美来 木下 楓花
3年3組 福士 真菜	2年3組 諸根 楓太	1年3組 村上 理紗
3年4組 渡辺 湊	2年4組 大谷 煌季	1年4組 山崎 真央
3年5組 荒川 歩夢	2年5組 鈴木 璃桜	1年5組 田仁 彪吾
3年6組 久松 優真	2年6組 由田 楽翔	1年6組 神崎 諒平
3年7組 佐藤 夢香	2年7組 山本 紗慧	1年7組 織田 颯真
3年8組 山本 翔天	2年8組 渡部 夢徠	1年8組 秋元 莉子

多羅樹 第43号

発行 令和6(2024)年3月
編集者 神奈川県立大和南高等学校多羅樹委員会
発行者 神奈川県立大和南高等学校
住所 〒242-0014 神奈川県大和市上和田2557
電話 046(269)5050

